

建築社会システム委員会「小委員会委員」公募

建築社会システム委員会では、下記の小委員会委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領に従いふるってご応募ください。

■募集要項

下記の（１）（２）を作成のうえ E-mail にてご提出ください。

（１）希望の小委員会

（２）応募者について

- ①会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mail アドレス、専門分野
- ②現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無（有の場合は委員会名を記すること）
- ③希望小委員会で果たせる役割。（1000 文字以内）
- ④希望小委員会に関連する業績（1000 文字以内）

委員任期 承認日～2019 年 3 月

応募締切 2017 年 3 月 10 日（金）必着

採 否 委員会で決定のうえ本人に通知します。

提出先：事務局事業G 浜田 E-mail：hamada@aij.or.jp

■住宅需給構造小委員会

主 査：松本真澄（首都大学東京）

募集人員：若干名

設置期間：2017 年 4 月～2021 年 3 月

活動目的：本小委員会は、住まい手の需要に応じた住宅供給システムと、その実現のための政策に関する研究を行う。このため、住宅需給構造の歴史、現状とあるべき姿について、社会経済的側面と建築的側面を融合させたアプローチにより研究する。高齢化・少子化・ライフスタイルの多様化に伴う住まい手側の急激な変化をふまえ、住まいへの要求の変化や、住宅市場の動向を解析し、これらへ対応する住宅政策の在り方を検討する。

■住宅の地方性小委員会

主 査：佐藤由美（奈良県立大学）

募集人員：若干名

設置期間：2017 年 4 月～2019 年 3 月

公募しない理由

すでに、委員会定員の 15 名で申請している関係から、公募を辞退

■建築企画小委員会 [17.04] ～ (19.03)

主 査：飯田 匡 (大阪大学)

募集人員：若干名

設置期間：2017年4月～2019年3月

公募しない理由

すでに、委員会定員の15名で申請しているため、公募を辞退

■建築プログラミング小委員会

主 査：柳父行二 (セカンドカード研究処)

募集人員：若干名

設置期間：2017年4月～2021年3月

活動目的：活動目的：施設の企画・計画での「具体的な施設設計・デザインの前提条件を抽出・整理する活動」の方法論と効果を調査研究する。

①施設の事業者・利用者・設計者らによる協働プロセスの、機能・経済・社会文化的価値を探求する。

②企画・計画の背景/理論、主体/体制、活動/行為、プロセス /手続き、ツール/場、成果/価値等の知見を蓄積、モデル化する。

③上記に関わる社会教育・生涯教育・専門家教育等の基盤となる知識体系を整理・公開し、より価値ある建築物の創造に寄与する。

■プロジェクトマネジメント研究小委員会

主 査：小栗 新 (アラップ・ジャパン)

募集人員：若干名

設置期間：2017年4月～2021年3月

活動目的：昨今国内の複数のメガプロジェクトにおいてマネジメントに係る課題が衆目を集めるところとなっているが、これらはスコープのマネジメント (の問題) がコスト・時間のマネジメント (の問題) に波及した事例と捉えることができる。本小委員会では、プロジェクトマネジメントのうち、スコープマネジメントについて、その手法・理論的枠組みとあり方について検討し、提言をとりまとめることをその目的とする。

■発注者の役割小委員会 [17.04] ～ (20.03)

主 査：齋藤隆司（日本郵政㈱）

募集人員：若干名

設置期間：2017年4月～2020年3月

活動目的：今日散見される大規模プロジェクトにおける白紙撤回、建設事故、大幅変更など、改めて発注者、発注者組織の責任に疑問が投げかけられている。そこで、本小委員会では、建築プロジェクトにおける発注者の役割等の事例調査等を踏まえ、より良き発注者像を確立し発注者を褒める仕組みを構築するとともに、建築プロジェクトにおける発注者責任及び発注者の役割を明確にすることを活動目的としている。